

評価情報（活用効果調査表等）

登録番号	CB-180026 -A
新技術名称	けい酸カリウムを主成分としたけい酸塩系表面含浸材(シリカリ)
比較する従来技術	けい酸塩系表面含浸材
組織機関名	
部署・事務所名	
工事名	
活用等の型	施工者希望型(契約後提案)

新技術活用計画書・実施報告書

作成日		
受注者名		
契約額(円)		
工事期間	～	
新技術施工期間	～	
施工場所		
施工概要	内容	
	対象数量	
	新技術使用箇所	
	現場施工条件	【現場条件】
		【周辺状況（病院、学校、鉄塔の有無等）】
	【自然環境（騒音、振動、水質等）】	
施工（活用）概要資料		
障害	【施工上で重大な障害や問題が生じましたか。】	
作業環境		
活用理由	経済性	1回塗りで散水洗浄不要なので、従来技術より安価で施工できる。
	工程	1回塗りで散水洗浄不要なので、工程への影響が少ない。
	品質・出来形	ひび割れを抑制し、地下水等侵入抑制が可能となり、従来技術と同様に乾燥状態の環境を維持できる。
	安全性	
	施工性	製品を原液で塗布するだけなので施工性が良い。
	環境	
	その他（美観）	含浸材塗布跡が白化しにくいので、美観向上につながる。
	その他（）	

活用効果調査表（発注者用）

発注課	
記入者氏名	
連絡先（TEL）	
経済性	当該技術に関連しない項目である 【コメント】
工程	当該技術に関連しない項目である 【コメント】
品質・出来形	当該技術に関連しない項目である 【コメント】
安全性	当該技術に関連しない項目である 【コメント】
施工性	当該技術に関連しない項目である 【コメント】
環境	当該技術に関連しない項目である 【コメント】
その他（ ）	当該技術に関連しない項目である 【コメント】
その他（ ）	当該技術に関連しない項目である 【コメント】
総合的所見	【NETIS掲載情報の『期待される効果』に対して、活用した結果はどうでしたか】 ●優れていた所 ●劣っていた所 ●留意する所 【当該現場ではNETIS掲載情報の「比較する従来技術」は適切でしたか】 【今後、当該技術を活用できる工事の場合に活用しますか】 【当該技術について改良点・要望・その他ご意見ありましたら自由に記入して下さい】

活用効果調査表（施工者用）

会社名												
記入者氏名												
連絡先（TEL）												
経済性	効果調査 <table border="1"> <thead> <tr> <th>従来技術より劣る</th> <th>同等</th> <th>従来技術より優れる</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>				従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる			4	優れていた点 - 作業人員が減少したため - 施工日数が短縮したため	
従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる										
		4										
	【コメント】 1回塗りで散水洗浄不要なので、経済性に優れる。				劣っていた点							
工程	効果調査 <table border="1"> <thead> <tr> <th>従来技術より劣る</th> <th>同等</th> <th>従来技術より優れる</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>				従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる			5	優れていた点 - 施工日数が短縮したため - 工程計画が組みやすかったため - 施工性が向上したため	
従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる										
		5										
	【コメント】 原液を1回塗布するだけで、散水洗浄も不要なので、工程への影響がなかった。				劣っていた点							
品質・出来形	効果調査 <table border="1"> <thead> <tr> <th>従来技術より劣る</th> <th>同等</th> <th>従来技術より優れる</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる		3		優れていた点 耐久性が向上する構造になったため	
従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる										
	3											
	【コメント】 ひび割れを抑制しており、地下水等侵入抑制が可能と思われる。今後発生する微細ひび割れに対しても未反応成分が反応し充填されるので、ピット内の乾燥状態を維持できるとされる。				劣っていた点							
安全性	効果調査 <table border="1"> <thead> <tr> <th>従来技術より劣る</th> <th>同等</th> <th>従来技術より優れる</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる		3		優れていた点	
従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる										
	3											
	【コメント】 				劣っていた点							
施工性	効果調査 <table border="1"> <thead> <tr> <th>従来技術より劣る</th> <th>同等</th> <th>従来技術より優れる</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>				従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる			5	優れていた点 作業員の作業が容易になったため	
従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる										
		5										
	【コメント】 1回塗りで散水洗浄が不要なので施工性が良い。散水洗浄用の水が不要なもの特徴である。				劣っていた点							
環境	効果調査 <table border="1"> <thead> <tr> <th>従来技術より劣る</th> <th>同等</th> <th>従来技術より優れる</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>				従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる			4	優れていた点 周辺環境への影響(大気・土壌・水質汚染)が減少したため	
従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる										
		4										
	【コメント】 含浸材が流出しないので、周辺環境への影響は同等と思われる。				劣っていた点							

その他（コンクリート表面の美観）	当該技術に関連しない項目である 【コメント】 含浸材塗布跡が白化していないので、美観確保ができています。
その他（）	当該技術に関連しない項目である 【コメント】
総合的所見	【NETIS掲載情報の『期待される効果』に対して、活用した結果はどうでしたか】 ●優れていた所 経済性、工程、施工性及び環境において従来技術より優れている。乾燥収縮によるひび割れの発生を防いでいるので、ビット内への漏水を防ぐことができる。 今後、初期養生が難しい土間等での使用を検討したい。 ●劣っていた所 ●留意する所 【当該現場ではNETIS掲載情報の「比較する従来技術」は適切でしたか】 適切であった 【今後、当該技術を活用できる工事の場合に活用しますか】 活用を検討したい 止水性能があるので、融雪剤を使用する雪寒基地の土間で、ひび割れ抑制の効果を検討したい。 【当該技術について改良点・要望・その他ご意見ありましたら自由に記入して下さい】
施工状況等の写真1	
施工状況等の写真1 タイトル	シリカリ

施工状況等の写真2



施工状況等の写真2
タイトル

シリカリ塗布状況

施工状況等の写真3



施工状況等の写真3
タイトル

塗布完了(白化なし)